



2013 自治労 Vol.11

つべつ

2013.2.15(金)

発行:自治労津別町役場職員組合 教育宣伝部

働くことを軸とする安心社会を 賃金底上げで社会と暮らしを再建

2013 春闘がはじまりました。

日本は1997年からデフレ経済に陥ったと言われています。現在もそこから脱却できず、シワ寄せは労働者に押し付けられています。

年収200万円以下の層は、1997年の817万人から2011年には1,069万人に拡大しました。民間企業が支払った賃金総額は、上記と同じ年の比較で、220兆円から195兆円に減っています。

公務員労働者も同じ状況です。一般行政職の平均年収は、この10年間で60万円下げられています。

この間、正規と非正規、大企業と中小企業、公務員と民間の間にあった賃金格差は、経営側によって、より低い方へ引き下げられました。

7割の企業が赤字を計上しているなかで、資本金10億円以上の大企業は安定的に「資本」を蓄積しています。大企業では過去10年間で経常利益を8兆円増やしています。大企業と呼ばれるのは、全企業281万社の内、わずか0.2%でしかありません。この0.2%の大企業が全企業の経常利益の53%を独占し、中小企

業や労働者へ我慢を強いているのです。

企業利益を優先する社会の仕組みが、15年ものデフレ経済に陥らせました。利潤のみを追求する経営側の視点では日本経済や社会をより良く変えることはできないのは明らかです。今春闘で、正規・非正規の労働者が団結し「声」を上げるたたかいをはじめましょう。

春闘期の日程

- 2/17(日) 10:00
地方本部政治学習会 [北見市]
地方本部女性部長・担当者集会 [北見市]
- 2/18(月) ~ 20日(水) 下記の時間
第2回職場集会(3日間) [図書室ほか]
ストライキ批准投票
- 2/21(木) ~ 22日(金)
全国町村職女性交流集会・2013春闘勝利
全国総決起集会 [東京都]
出席:佐藤佳奈さん
- 2/23(土) 18:00
くさか太朗と語る新春の集い [美幌町]
- 2/23(土) ~ 24日(日)
全国青年団結集会 [長野県千曲市]
出席:渡部ゆかりさん

職場集会日程	開催日	開始時間	支会の割当	会場
	2月18日(月)	12:05	総務、住民企画・会計	図書室
		18:00	特養	会議室
	2月19日(火)	12:05	保健福祉、産業振興	図書室
		17:30	バス・機動	バス車庫
2月20日(水)	12:05	建設、教委・議会・学校、社会教育	図書室	

100%の投票でスト批准を

自治労は、春闘期から人事院勧告期、閣議決定期、自治体確定期の節々に、ストライキを含む産別統一闘争を配置してたたかいます。

スト批准投票は、春闘期を含め年間を通じて、一波につき2時間を上限として、そのストライキ指令権を自治労中央闘争委員会に委譲することについて組合員の承認を求めるものです。

この批准投票で圧倒的な批准率を示すことが、自治労のたたかう姿勢を内外に示すこととなります。

批准率 100%に向け、皆様のご理解とご協力をお願いします。ぜひ「〇」をご記入ください。町職の2012年の投票率は100%、批准率は95.15%でした。

職場集会に出席できない方には個別に投票を行っていただきます

瞬間値を問題にする愚行 地方公務員給与7.8%削減問題⑦

地方自治体は、1998年以降、景気対策と名打った国の財政発動に協調し、長期間にわたって厳しい財政運営を強いられてきました。

その結果、職員給与の独自削減や職員数の大幅な削減、そして市町村合併が進められ、現業職場を中心に民間委託や指定管理者制度などで行政機能のアウトソーシングが強行されてきました。北海道においては、全国に例を見ない14年連続の給与の独自削減が不当に強行されています。このように様々な行革努力を国に先んじて地方自治体は推し進めてきており、臨時特例法による国家公務員の給与減額を、地方交付税削減によって地方へ強制することは断じて許すことができません。

給与削減は、今月8日に総務省が公表したラスパイレース指数をもとに強制しようとしています。ラスの全国平均は107.0で、津別町は106.8です。全国でラス指数100を超えているのは87.5%の1,566団体です。総務省が問題にする「100超え」は国公が給与減額をする2012、2013年の2年間のみ「瞬間的な数値」です。多くの自治体は、何年にもわたって100を切ってきており、総務省は、極めて不当で理不尽なことを言っているのです。

津別町のラス指数と職員数
(過去10年間の推移)

年	ラス指数	職員数
2012 (H24)	106.8	120
	国公給与の減額 がなかった場合 98.6	
2011 (H23)	97.0	128
2010 (H22)	96.4	128
2009 (H21)	97.5	130
2008 (H20)	97.8	135
2007 (H19)	97.6	136
2006 (H18)	93.6	143
2005 (H17)	95.5	145
2004 (H16)	95.4	151
2003 (H15)	99.0	154

※ラス及び職員数は4月1日現在です。職員数は特別職3名を除いています。
※条例定数は171名です。

